

# 信州観光 ハッカソン

2015.12.5(Sat) -12.6(Sun)  
信州科学技術総合振興センター(SASTec)

定員 30名 / 参加費 無料

観光×IoTで価値創出を目指す2日間の試作開発体験

- ★観光のスペシャリストによるインプットセミナー！
- ★観光分野で使えるIoTモジュール/APIのハンズオン！
- ★電光石火のプロトタイプ開発をメンター陣がサポート！

参加申込フォーム ⇒ <https://goo.gl/8YwtZn>

## PROGRAM

- 12/5(土) 10:00-10:15 開催あいさつ / 講師紹介  
10:15-11:45 インプットセミナー・課題設定  
11:45-12:30 昼食  
12:30-14:30 アイデアソン  
14:30-15:00 チームビルディング  
15:00-16:30 ハンズオン  
16:30-19:00 ハッカソン  
19:00-20:30 交流会  
12/6(日) 10:00-17:00 ハッカソン  
17:00-18:00 成果発表会

詳細 <http://goo.gl/ViIGCL>

- ※本イベントへの参加は、要事前申込となっております。
- ※交流会等、飲食にかかる費用は別途有料となります。
- ※プログラム、時間等は変更になる場合がございます。
- ※当日はパソコンをご持参ください。

【お問い合わせ】株式会社CCL (担当：山田・原)  
Mail [event@cc-lab.co.jp](mailto:event@cc-lab.co.jp)

### インプットセミナー

国際リゾート地域  
ニセコの影の仕掛人

釘持勝氏

eResort Inc. 代表



### IoTハンズオン

デジタルFab/IoTの  
プロフェッショナル

穂積智氏

株式会社FaBo



### 気象APIハンズオン

データから価値を生む  
気象専門のITベンチャー

佐藤拓也氏

YuMake.LLC 代表



▼インプットセミナー講師/アイデアソンファシリテーター

鈕持勝 (けんもつ まさる) 氏 eResort Inc.代表



地域経営及び観光事業のコンサルタント。北海道でのニセコひらふ地域の改革（2002年から12年で外国人客数を約40倍超に増加の礎を造る）をはじめとして数々のスキーリゾートの再建を担当。秋田県中期観光振興プラン検討委員兼アドバイザー（2009年）、長野県のスキー場再興支援やソーシャルメディア活用のアドバイザー等も勤める。越後湯沢の岩原スキー場に15年間勤務（財務・企画等複数部署の統括責任者）/NPO観光情報学会 元理事（「観光情報学」という言葉を生み出した）/北海道大学大学院 情報科学研究科 元非常勤講師/H.I.S国内旅行事業本部 元顧問/元長野県観光振興アドバイザー/産業技術大学院大学/社会人学び直しのための高度人材育成プログラム プログラム委員（兼、専門教員）/中小機構東北震災復興アドバイザー（2014年8月より継続中）/株式会社いざなみ顧問

▼IoTモジュール「FaBo」について



モバイルアプリ開発のベンチャー株式会社Gclue（本社：会津若松市）の佐々木陽氏により生み出された、IoTプロトタイプ開発向けのモジュール群。同社が2014年に開設した会津ものづくり工房「Fab蔵」にて、ハードウェアおよびアプリ+ハード開発の研究が進められ、「オープンソースハードウェア」の概念を取り入れた「FaBo」を、本年リリース。10月には株式会社FaBoが設立され、今後、本格展開が開始される。

2日間の流れ

【1. インプット・アイデアソン】



【インプット】  
観光分野の現状や課題について紹介をします。  
【アイデアソン】  
紹介されたAPIやモジュールで何を作るかを考えます。

ココがポイント

- ※ アイデアを出す前に、観光についての理解を深めます。
- ※ ハッカソンで作るモノについて全員でアイデアを出します。

【2. ハッカソン・ハンズオン】



【ハッカソン】  
出たアイデアを元に、自由にアプリを開発します。  
【ハンズオン】  
ハッカソンに入る前に、IoTモジュールやAPIのハンズオンを行います。

ココがポイント

- ※ ハンズオンでスキルアップをはかれます。
- ※ チームを組んで自由に開発ができる時間です。

【3. 成果発表会】



開発した成果を発表し、講師からフィードバックを受けます。

ココがポイント

- ※ 成果物をプレゼンでアピールします。
- ※ 実機でのデモなども行います。

ACCESS



信州科学技術総合振興センター (SASTec)  
長野県長野市若里4-17-1  
信州大学 長野(工学部)キャンパス内  
(JR長野駅東口より徒歩20分)

【バスでお越しの場合】

JR長野駅東口から長野電鉄バス21番のりばor1番のりば「屋代・保科温泉・日赤行き」バス停より「日赤経由アークス中央行き」「日赤経由水野美術館行き」「保科温泉行き」のいずれかに乗車し、バス停「信大工学部前」で下車。

【自家用車でお越しの場合】

会場の駐車場をご利用ください。

※ご来場の際の注意※

キャンパス正門が工事により通行止めになっています。お車の場合は「東門」、徒歩・公共機関の場合は「東門」または「北門」よりご入場ください。



Q & A

- Q: 電源やネットは使えますか？  
A: 電源は会場でご用意します。ネットについては、モバイルルーターをご持参ください。事務局で10名程度までは対応できるようご用意いたします。
- Q: 参加資格など、ありますか？  
A: どなたでもご自由に参加いただけます。デザイナーの方などの参加も歓迎です。
- Q: チームでの開発が必須ですか？  
A: 当日は、参加者全員でチーム分けを新たに行います。一緒にお申込みいただいた方向士でのチーム編成も可とします。個人でご参加の方も、他の参加者とのチームづくりを行います。
- Q: 成果物の帰属はどうなりますか？  
A: 参加者に帰属するものとします。
- Q: 見学のみの参加もできますか？  
A: 見学のみの参加も歓迎いたします。
- Q: 会場内で食事はとれますか？  
A: 初日・2日目の昼食は、お弁当を手配いたしますので、実費ご負担をお願いします。初日夜は、飲食付の交流会(自由参加/参加費2000円程度を予定)を行います。